

第16回四極青雲会総会

第16回四極青雲会総会を、令和8年5月16日（土）、トキハ会館5階「カトレアの間」で開催しました。17時より総会、17時30分より記念講演、18時30分より懇親会を開催しました。総会に22名、記念講演に26名、懇親会に24名の方が参加してくれました。

総会では、伊藤隆啓会長の挨拶の後、木本英光事務局長から令和7年度の事業報告、決算報告、会計監査報告、令和8年度事業計画案、予算案についてまとめて説明があり、会場拍手で承認されました。続いて、今期が理事・監事の改選となっており、理事・監事の改正案が説明され、これも会場拍手で承認されました。新規役員は次に通りです。会長：高橋幹雄（新任）、副会長：安部万寿夫（再任）、道頭孝憲（新任）、事務局長：木本英光（再任）、監事：泉比呂志（再任）、顧問：石井まこと（経済学部長、新任）、三浦洋一（四極会会長、再任）、岩尾明（再任）、伊藤隆啓（新任）。

続いて、17時半から記念講演があり、社会医療法人関東会理事長の増永義則氏から「社会医療法人関東会の過去・現在・未来」と題して講演をしていただきました。

講演では、関東会の存在意義として「地域の人をケアする」「地域包括ケアを進めて地域共生社会を実現する」ことと捉え、「自己研鑽」「地域包括ケアの推進」「地域貢献」を経営理念に地域医療を展開してきた歴史と取り組みが紹介されました。そして地域医療の60年及地域包括ケアの50年を踏まえて、これからの地域医療として、「治す医療（キュア）」から「治し、支える医療（ケア）」へ、病院完結型医療から地域完結型医療へ、という方向性を示されました。

会場からは関東会の取り組みを知れて感動した、すごいなと思った等の感想が寄せられました。

講演の後は18時30分から会場を移して懇親会に移りました。冒頭、阿部万寿夫副会長から衛藤晟一先輩が最高位の旭日大綬章の叙勲を受けたことが披露され、乾杯の音頭で懇親会が始まりました。しばらく歓談のあと、衛藤晟一さんから叙勲の挨拶をいただき、さらに参加者の近況等の報告があり、なごやかにかつ盛大に懇親会が進みました。最後に新副会長の道頭孝憲さんの音頭で3本締めを行ってお開きとなりました。



